

地域とともにある学校を目指して

八幡平市のコミュニティ・スクール



西根第一中の生徒がコミュニティ・スクール関連事業の一環として平館ふれあいまつりに参加し「よさこいソーラン」を披露

地域とのつながりを強固に

市の次代を担う人を育てるため、学校と地域が連携・協働した取り組みを進めていく必要があります。そのためには「地域としてどのような子どもを育てていきたいか」「何を實現していく必要があるのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。市は、学校教育指導の重点の一つに地域との連携・協働を掲げ、地域とともにある学校づくりを推進しています。学校が抱えるさまざまな課題を、保護者や地域の皆さんと一体となって解決するための施策としてコミュニティ・スクールの導入を進めています。

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域の皆

さんが共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく仕組みのことです。保護者や地域住民、教職員などから構成される学校運営協議会を学校に設置し、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて、それぞれの立場から意見を出し合ったりします。

昨年度は寄木小と安代小に、本年度は平館小、寺田小、西根第一中、西根中に設置し、計6校で導入されています。

導入する主なメリットは

- ①組織的、継続的な体制の構築
校長や特定の教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制が継続できます。
- ②目標やビジョンを共有した協働活動の實現
学校運営協議会での熟議などを通して、子どもたちがどのように課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を實現していくのかという目標やビジョンを共有できます。

③当事者意識、役割分担

地域とともにある学校づくりのイメージ図



教育振興運動(教振)とは

校長が作成する学校運営の基本方針の承認を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者が当事者意識を持ち、役割分担しながら連携・協働した取り組みをすることができま

50年以上前に、子どもの学力が全国で最下位グループにあった岩手県が、学力の底上げを目的に教育振興運動を展開し、子どもや学校、家庭、地域、行政の5者が、その課

題を共有・連携して取り組んだことが始まりです。

小学校ごとに10の実践区があり、それぞれの実情に応じた、あいさつ運動や郷土芸能の伝承活動などを行っているほか、親子の交流と学習機会の創出を目的とした三行詩の募集・表彰にも取り組んでいます。

市は、教育振興運動を基盤に据えて、コミュニティ・スクールの導入を推進し、八幡平市の次代を担う人づくりを目指しています。

コミュニティ・スクールのイメージ図



〈学校運営協議会の主な役割〉

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができること

地域が一体となって子どもが学べる環境をつくっていききたい

コミュニティ・スクールの導入校が全国に増える中、学校運営協議会の委員の選定が課題になることが多いようです。

本市では、長年にわたって教育振興運動(教振)を熱心に取り組んでおり、学校と地域の関わりが深く、委員をお願いしやすい環境にあることは、教振の成果ではないかと思っています。

教振の取り組みは、5者の責任を明確にした上で役割をこなす5R(レスポ

ンシビリティ)運動とも呼ばれています。主役の子どもたちは勉強に励み、先生は学習指導に注力する。それを保護者、地域が支え、行政が環境を整備し、地域の教育を支える運動です。

コミュニティ・スクールの全校導入を良い機会として、教振の5者の連携をこれからも深めて、子どもが不自由さを感じないで学べる環境づくりになお一層、取り組んでいきたいものです。



教育振興運動推進協議会長 宮野 朋士 さん

写真：子どもリーダー研修会
教育振興運動振興協議会が主催する行事の一つです。今年は、情報メディアの危険な使用方法について講義を受け、お互いにルールを話し合っ、安全に使いこなす方法を学びました。





安代小CSディレクター
伊山 瞳子 さん

教育パートナーの輪を広げ、活動を盛り上げていきたい

安代小には、保護者や地域の皆さんで構成する教育パートナーというボランティアの組織があります。平成15年の開校当初から続き、教育活動を支援しています。

昨年CSディレクターの任命を受け、教育パートナーと学校との間に連絡調整をする業務に携わっています。

教育パートナーは、放課後に子どもたちの学習を支援する「たけのこ教室」や、学期末の授業で復習プリントの丸付けをする「算数習熟学習」など、さまざまな活動の支援をしています。どの活動も子ども

たちが楽しんでいて、とても良い教育環境だと感じています。スキー学習では、子どもたちだけでなく、教える教育パートナーも楽しんでいます。

よく保護者から「コミュニティ・スクールって何？」と質問を受けますが「学校と保護者と地域の皆さんが一緒になって楽しくやろうよってことだよ」と答えています。

教育パートナーの輪をさらに広げて、子どもたちと一緒に楽しみながらコミュニティ・スクールの活動を盛り上げていきたいです。

教育パートナーの支援を受け、郷土の良さを子どもたちに伝えたい

安代小は、教育パートナーの支援を受け「たけのこ教室」や「算数習熟学習」を実施しているほか、あゆの稚魚放流、そば学習、森林学習、りんどう学習(花育)など、地域に根差した学習も展開しています。

雪が多い安代地区はスキーが盛んな地域です。教職員と教育パートナーが指導するスキー学習を実施し、子どもたちの技術の習得や体力向上を図っています。教育パートナーとの触れ合いは、子どもたちが地域に目を向けるきっかけにもつながります。郷土の良さを感じ「安代っ

て良い所だよ」と薦められる大人になってほしいと思います。

これらの事業を実施するにあたり、多くの教育パートナーの支援に感謝しています。地域の皆さんから新規事業要望をたくさんいただいています。子どもたちの状況に合わせ、地域の皆さまと相談しながら、コミュニティ・スクールをよりよい仕組みにしていきたいです。そして、子どもたちが地域に感謝する心を持ち、大切にしていきたいという郷土愛を育むことができるように、少しでも貢献していきたいと考えています。



安代小
國安 裕之 校長

いよいよ令和2年度に 全校がコミュニティ・スクールへ！

これから導入する学校
小学校：大更、田頭、平笠、松野、柏台、田山
中学校：松尾、安代

コミュニティ・スクール関連事業は、多くの保護者や地域の皆さんの支援で成り立っています。

将来を担う子どもたちのために、ぜひ事業に参加していただき、地域とともにある学校を目指して盛り上げていきましょう。

■問い合わせ先 市役所教育指導課(☎・内線1430)

コミュニティ・スクールを通してつながろう

寄木小と安代小の2校は、平成30年からコミュニティ・スクールを本格的に導入し、今年で2年目となりました。各校長と地域の皆さんとの連携を担う業務に携わる2人の、それぞれの思いを伺いました。

活動を通して子どもたちを見守る地域の人を増やしていきたい

コミュニティ・スクールに携わる前から寄木念仏剣舞の指導や絵本の読み聞かせボランティアで学校との関わりを持っていました。現在はCSコーディネーターの任命を受け、学校からの依頼により教育を支援するボランティアを探すことなどの業務に携わっています。

先日、地域の皆さんを講師に招き、昔の遊びや生活用具などを子どもたちに紹介する「地域を知ろう」という授業がありました。子どもたちは夢中で、時間があっという間に過ぎ「また道路で会ったときに話しかけてもいい?」「また教えてくれ

る?」と講師に頼む姿が印象的でした。おそらく次に会うときには、会話が弾んでつながりができ、子どもたちを見守る存在になってくれると思います。

地域内には、子どもとの関わりがない人も多いと思いますが、コミュニティ・スクールのさまざまな事業への参加を促すことで、学校にも目を向けてくれるようになるのではと思っています。そういう地域づくり、環境づくりに努め、事業を通して、子どもたちを見守ってくれる地域の皆さんを増やしていきたいと思っています。



寄木小CSコーディネーター
伊藤 政子 さん

子どもたちと地域の皆さんとの絆を深め、みんなが笑顔になるように

寄木小は、稲作学習や地域を学ぶ清水めぐり、寄木念仏剣舞の伝承など、地域と連携した活動が盛んな学校です。コミュニティ・スクールを導入し、さらに良かったと思えることがあります。

一つは、年間行事計画を事前に地域の皆さんに周知できるようになったことです。いつ行事が行われるのかが分かることで、地域の皆さんとより計画的な連携ができるようになりました。

学校運営協議会(寄木っ子応援隊会議)で、委員の皆さんと相談できることもメリットの一つです。子どもたちの学力向

上について提案したところ、地域の皆さんのご協力のおかげで、今年から夏休みの宿題の学習支援をする寺子屋が実現し、子どもたちからも好評でした。

継続的な事業を通して、子どもたちが地域の皆さんの名前を以前よりもたくさん覚えていることも、コミュニティ・スクールの良さだと思います。

今後も地域の皆さんと相談しながら事業を行い、地域の皆さんから子どもたちを育てていただくとともに、地域の元気づくりにも少しでも寄与していきたいと考えています。



寄木小
藤嶋 茂美 校長

コミュニティ・スクール関連事業を紹介します



白坂観音例大祭山車運行参加(西根第一中)



大更コミセンまつり吹奏楽部演奏(西根中)



たけのこ教室(安代小)



寄木念仏剣舞伝承(寄木小)



絵本の読み聞かせ(寺田小)



消防団と作成した防災マップを発表(平鏡小)